

科目	経営法務	担当	三井 啓	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

企業組織は、その外的環境の重要な要素の一つとして法律・規則があり、その下に企業活動は保護され規制されている。また学生の皆さんは卒業後、企業に就職もしくは起業することにより企業人としての役割を担っていくが、その際に必要とされるコンプライアンス遵守の行動指針や企業取引における契約・権利・義務等を民法、商法、会社法を中心に概説する。また企業経営を取り巻く法律として、電子商取引に関する法律や消費者保護関連の規制、知的財産権などにも触れ、経営に関わる法律知識を習得する。

【履修注意】

出来れば経営基礎科目を履修していることが望ましいが、学習経験が少なくても受講出来るような講義にする予定である。

【評価方法】

期末テスト60%、中間まとめ20%、出欠席20%程度を加点要素とし、受講態度を考慮して総合的に判断する。

【試験について】

筆記試験を行う。

再試験対象者の条件： 不合格者のうち40点以上のものを対象とする

【予習・復習】

講義の復習として、問題のプリントを配布するので次回講義までに各自学習すること。また、講義中に紹介する参考書を読み、講義内容の理解を深めること。

【教科書】

書籍名: ビジネス実務法務検定公式テキスト2018年度版3級 著者: 東京商工会議所 出版社: 中央経済社

【参考書】

書籍名: ビジネス実務法務検定公式問題集2018年度版3級 著者: 東京商工会議所 出版社: 中央経済社

六法全書、その他、必要に応じて講義中に紹介する。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	経営法務で学ぶこと	講義の全体像・要点・目標の説明及び履修の留意事項
2	経営法務の法体系	ビジネスと経営法務の役割、法律の基礎知識
3	取引を行う主体	権利・義務の主体、会社の仕組み
4	会社の設立、事業開始	会社法(会社設立、倒産、資本市場など)に関する基礎知識
5	法人取引の法務1	契約とは何か? 契約の種類、売買契約、売買以外の契約形態
6	法人取引の法務2	取引の決済(手形・小切手等)、契約によらない債権・債務の発生
7	法人取引の法務3	契約書及び契約関連文書、ビジネス文書の保存・管理
8	中間まとめ	1～7回について
9	法人財産の管理と法律	法人財産の管理と法律、知的財産権、紛争の予防、訴訟手続
10	債権の管理と回収1	債権管理の必要性和信用調査、日常的な債権の管理回収
11	債権の管理と回収2	債権の担保、緊急時の債権の回収
12	企業活動に関する法規制	取引に関する各種の規制、消費者保護関連、ビジネスと犯罪
13	法人と従業員の関係	従業員の雇用と労働関係、派遣労働における労働形態
14	ビジネスに関連する家族法	取引と家族関係、相続
15	ビジネスパーソンと法律・法務	法律と企業、ビジネスパーソンの行動指針の検討
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ